

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	挨拶の励行	登館や下館時、食事の時の挨拶はしっかりとと言えるように職員からの声掛けも積極的に行った。
		手洗い消毒の励行	登館、帰館、外あそび後、食事前の手洗い、手指消毒を徹底した。
		整理整頓の励行、遊具の使用法	自分の物は自分で管理するよう、荷物をロッカーに入れるよう声掛けをするが、忘れ物や落とし物が多かった。制作物のロッカーの入れっぱなしが多かったため作ったその日に持ち帰るよう全体に周知した。一方、3年生以上は個人のロッカーがないため、誰の物なのか、特定できない時があった。遊具について、昨年度課題としてあげていた、複数の遊具を混ぜてあそぶ方法については、17時以降は混ぜて遊ばないよう話し合いで決めて、実行した。
	健康の管理・情緒の安定	お弁当いらないDAY	児童にお弁当・パン・うどんなどの中から選択してもらい児童の意見を反映させたのもあり、児童から好評だった。
		登下館の安全指導	年度当初、集団下館にコース別に職員が付き添いながら、安全指導を行った。問題が起きた時は帰りの会などで話をした。また、交通安全教室で交通ルールも学習した。
	基本的生活習慣の確立	出欠確認・行動状況の把握	アプリや電話、口頭での連絡、確認の正確性に努め、必ず記録を残すようにしている。連絡のない未帰館児童には必ず保護者に連絡を取り所在確認を徹底した。ホワイトボードにはるマグネットの置き間違いで帰館方法を誤って伝達することがあったため、印などをつけて対策をとる必要がある。
		心理・健康状態の把握及び対応	体調不良や日々の疲れを訴える児童に対して、保護者と連携して児童の状況を把握し個別の対応を行った。休息できる場所がないことが例年の課題であるが、ハード面の問題でもあるため、なかなか解決方法が見つけにくい。
	社会生活技術の獲得	おやつ提供	班で順番におやつを食べていたが、あそびを優先したいため持ち帰りする児童が多くなった。おやつと遊びのメリハリがないと職員から意見がある。机の台数の影響で一定方向むいて全員で食べることは困難に近いが食べ方を再度検討する必要がある。
		班活動	今年度は冬休みより、班活動を実施。昼食やおやつ机出し、拭き、掃除機かけを班ごとに担ってもらった。協力して効率よく動けるように児童自身も工夫する姿が見られた。
学習の習慣作り		宿題を強制していないが、机を出す場所を限定したり学習しやすい環境を作るよう心掛けた。宿題をする場所について、遊戯室の絨毯と育成室を設定としているが、絨毯でする人が多く、育成室に行く子が少ない為、バランスよく区分けができていないのが課題である。宿題をする時間については、自分たちで調整し取り組めた。	
子ども育成	生活体験の拡大	おたん生日会	月ごとに誕生日を祝うことができた。歌は廃止しインタビューのみに変更。対象児童の中で欠席のときカードを渡し忘れることがあったためそれが無いよう徹底する必要がある。
		水あそび	3年以上はせせらぎ公園で、1・2年は館のグラウトで水遊びをする。2年生は天気の影響により変更となる。ほとんどの子は楽しんでいて、一部こどもが行かないと申し出てきたことに対して、そのまま聞き入れた結果、本当は入りたかったが入れなかったということが起こった。来年度は保護者からの申し出、もしくは体調不良があった場合を除き、参加を促していく。
		夏マルシェ	TAMARIBAにて行われたイベントに参加。挨拶やお礼などをするように促し、挨拶などしっかり行っていた。
		北・上京・中京区ブロック児童館 学童保育所まつり ダンス発表	島津アリーナにて、ダンスの発表を行う。人前でのダンス発表であったため、緊張しながらのステージであったが、こどもたちは楽しそうに踊っていた。また大勢の保護者の前で披露できたことも、自信に繋がった。
		新大宮夏まつり ダンス発表	大宮商店街のお祭りにて、ダンスの発表を行う。直前になり発表の時間が変わり、それに伴い参加するこどもの保護者への引き渡しの対応に手間取った。
		FUNAOKASTANDARD ダンス発表	FUNAOKASTANDARDにて、ダンスの発表を行う。新曲も披露。多くの保護者や来場者が見に来たこともあり、こどもたちの自信に繋がった。
		スマイルフェスタ ダンス発表	スマイルフェスタにて、ダンスの発表を行う。地域の方と交流を図り、老センの方や、地域のダンススクールの方と遊びやダンスを通し、多世代と交流することができた。
		利用者共通アンケート	学童クラブ児童対象に実施。1年生からすると意味がわからないこともあったため、職員が説明をしながら行う。ほとんどの人は真面目に書いていたが、一部ふざけて書いている人もいた。今年度避難訓練に力を入れたこともあり、「台風、地震、火事が起きたときは、どのように避難するか、先生から聞いていますか？」という設問にたいして「はい」と回答した人が増加していた。
		ダンス練習	今年度は新曲を学童クラブの保護者の方（ダンススクールの指導者をされている方）に振り付けを作ってもらった。こどもたちも取り組みやすい曲だったこともあり、多くの子どもが参加して、練習をした。一方ダンスが苦手な児童の対応に職員が取られることもしばしばあった。
		おわかれ遠足	3年生を対象に、遠足を実施。こどもたちの意見から「スポッチャ」へ行く。それぞれグループになって遊びを楽しむ。また交通マナーなども口酸っぱく言う必要もなく、守れていた。昨年度課題であった、参加率に関しては、昨年度より多くの子どもが参加した。昨年度と違い、学校が同じ子同士だけでなく、同じ学年として仲が良かったことから参加率が上がったと推測される。
新入生歓迎会	3年生以上の児童があそびの発表をし、新入生への歓迎の気持ちを伝えた。3年生はプラバンの製作も積極的に行ってくれた。プラバンをプレゼントされた1年生も喜んでた。		

ハ機能		MSNアベンジャーズ企画	年6回みんなあそびを開催。ドッジボールやドッジビー、新聞折りゲームやおばけやしきなどバラエティー豊かな内容をみんなで楽しめた。集団で取り組むのを苦手とする児童も参加することが多かった。	
		MSNアベンジャーズ（こども会議）	3年生有志の児童が集まり、この会議の名称から考え、毎回みんなあそびの内容、役割を考えた。意欲的に取り組む姿が見られたが、会議中、集中力がおち、ふざける児童もいた。	
		1年生会議	1年間児童館での思い出を振り返り、感想を発表し合う。人前で自分の感想を発表するという事で緊張していたが、一生懸命発表をしていた。	
		2年生会議	次年度学童クラブを引っ張っていくリーダーになる2年生が主体となり、おわかれ会の内容を話し合う。普段多勢の中であまり意見を言わない人が意見を言ったり、役割をすると挙手をしたりと、意欲的に参加する姿が多く見られた。	
		3年生会議（おわかれ遠足・修了制作）	おわかれ遠足の内容決めや、大型ちぎり絵の制作をする。遠足、ちぎり絵制作の実施の有無を含め、自分たちで意見を出し合って決めることができ、ほとんどの人は両方楽しんで取り組んでいた。一方、ごく一部ではあったが、遠足のみに参加し、面倒くさいと感じたちぎり絵制作には参加しない人もいた。	
	自立の促進と自主性の尊重		図書館利用説明会	図書館職員からの説明を聞いた上で、新1年生も児童だけで利用できるようになる。8月までは上級生が付き添い利用し、その後は自分たちで1回30分の時間を守って利用している。過ごせる場を広げ、時間の感覚も身に付けられている。
			こども夏まつり会議	3年生以上のこどもたちで会議を行い、コーナーの企画・運営を実施。3年生のこどもたちは多くの意見を出し、それをまとめたりと積極的であったが、一方で4年生は休会明けの児童もいたことから、思うように話し合いが進まず、職員が介入する形になった。
			クリスマス会会議	3年生を主とし、みんなでできる遊びを意見を出し合い考案、準備、実施をした。実行委員として、司会や装飾作りなども積極的に取り組んでいた。
			交通安全教室	警察署の方に来ていただき、クイズ形式で楽しみながら交通ルールを学習した。関心があり、聞いているこどもが多数いる中、聞くことが難しく、後ろの方で走り回るこどもが数名いた。
			防犯教室	北警察署の方に来ていただき、交通安全の話聞く。最初は集中して聞いている人も多かったが、後半集中力が切れて、歩き回る人が数名いた。
		おわかれ会	2年生が主となり、みんなあそびを行う。2年生は司会やゲームの進行、3年生は、ちぎり絵の発表を行うなどそれぞれが役割をこなすことができた。	
子育て支援機能		おたより「はだしっこ」配信・配布	毎月の学童クラブの行事予定、前月の活動の様子を載せたお便りを全家庭、所属小学校に配布。今年度からアプリ上でも見れるように配信も行う。しかしアプリ上での写真の同意を取っていないため、写真の掲載はなく、一部文章のみになってしまう。来年度はアプリ上での写真の取扱いについて、同意を取り、更にスマートフォンでも見えやすくなるように、工夫をしていく。	
	子育てに必要な情報の提供と交換	第一回 保護者懇談会	新入会のこどもたちを中心とした4・5月の学童クラブの様子をお伝える。口頭だけでなく、写真をスクリーンで見せたことにより、楽しそうに過ごしている姿を保護者に伝えることができた。	
		第二回 保護者懇談会	夏休みの過ごし方の説明と、6・7月の学童クラブの様子をお伝える。第一回と同じく、写真を使い説明をするが、日々の様子のところで保護者からするとマイナスと捉えるニュアンスの発言をしてしまったので、今後は、保護者に伝えたい注意喚起などの説明も、受け手が嫌な気持ちにならないよう、言葉を選んでいく。	
	子育てを支えるネットワーク形成	第三回 保護者懇談会	年間の子どもの様子（行事なども含めて）を動画を用いて伝える。その後は、保護者の方の疑問点や、悩み事などをグループトークで職員と保護者とで円になり、話した。保護者からの意見、館からの意見など、複数人で話をする機会がなかったため貴重な会となった。一方で参加者が少なく、多くの保護者が参加できるよう、魅力的な会にしていく必要がある。	
		個人懇談	6月・10月の二回、実施をする。普段の様子をお伝えるだけでなく、学校や家での様子などを共有する貴重な場となった。	
	子育ての仲間づくり	登録説明会	新入会を予定している保護者に向けて、児童館事業・学童クラブ事業の説明、ウェブ上での申請の仕方等をスクリーンを用いて説明をする。	
		入会説明会	新入会の保護者に児童館・学童クラブの内容を添付資料を基に説明する。昨年度から導入したQRコードを用いての入退室の管理など、新たに付け加えた説明もタブレットを用いて説明したことで、具体的に伝えることができた。また質問にも答える機会となった。	
		利用者共通アンケート	学童クラブ保護者対象に実施。今年度から、アプリでの実施となり、昨年度より回収率が上がった。また、回答者が特定できないため、より忌憚のない意見があがるようになった。	